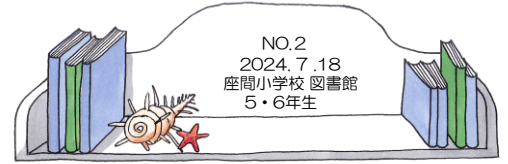
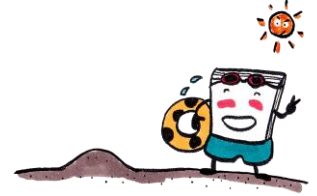


としよだより



いよいよ楽しい夏休みですね。せっかくの長いお休みに、みなさんがもっと本を読めるように、本の貸し出し数を一人3さつまでに増やしました。そのせいか、いつもより多くの貸し出して、学校図書館は大にぎわいでした。本をゆっくり楽しんでもらえたら、うれしいです。そして、ぜひ図書館や公民館でも本を探してみてください。学校にはない本がたくさんあり、すずしくて一石二鳥ですよ。

借りた本は、2学期の始業式か次の日に返しましょう。（荷物が重い場合は9月初めでも大丈夫です）



令和6年 読書感想文コンクール 課題図書

読書感想文は、自分が好きな本で書くのが一番です。
好きな本が見つからない人には、課題図書をおすすめします。
知らない世界にふれるチャンスかもしれませんよ。



【ぼくはうそをついた】

西村 すぐり : 作
なかしま かの 花野 : 絵



あの人を救いたくてー
原爆で亡くなった息子のフリ
をしたレイ。ヒロシマの悲劇
の、今も消えない傷を考え始
めたリョウタは原爆ドームへ。
平和への祈りをこめた物語。

【ドアのむこうの国へのパスポート】

トンケ・ドラフト : 作
リンデルト・クロムハウト : 作



トム先生のクラスの子ども
たちは、ある作家からのな
ぞ解きにいどみ、風変りな
パスポート申せいやビザ作
りに取り組むことに。氣に
なるドアの向こうに何があ
る？心のかぎを開ける物語。

【図書館がくれた宝物】

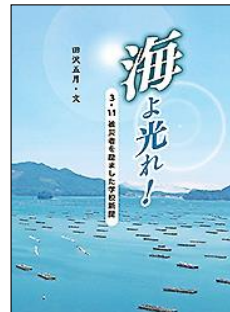
ケイト・アルバス : 作
くしだ りえ 榎田 理絵 : 訳



お金持ちだが、両親も祖父母
も居なくなった三人兄弟。戦
争であふない都会から疎開し
て、親代わりになる大人をひ
そかに探すことに。いやな事
も、図書館が助けてくれて…。

【海よ光れ！】

3. 11 被災者を励ました学校新聞
たざわ きつぎ : 作



ひがしにほん大震災の避難所となった
小学校で、被災者と共にいた子
どもたち。自分たちに何ができ
るのか考え取り組んだのは、先
ばいたちから引きついた事だっ
た。感動のノンフィクション。